

入場規制されるほど大盛況で、来場された方がお帰りの際に「ダンスかっこよくて、素晴らしかった。」
「もっと見たかったけど、次の予約があるので残念。」
「子どもがすごく喜んで、楽しかったです。」と感想があり、疲れも吹っ飛ばすほど嬉しく、参加させてもらい良かったと思えました。



【開会セレモニー後の石見神楽の公演】

もう一つの会場のギャラリーWESTでは、9日から11日の3日にわたり、株式会社ヘラルボニーのCAO(チーフアートオフィサー)である黒澤 浩美氏をキュレーターとして迎え、障がいのあるアーティストによる作品の展覧会「アバンギャルドですが、なにか」の開催、作品のデザインを取り入れたグッズや出品アーティストの図録等の販売、農福連携で栽培された野菜をキッチンカーで調理したホットドック、カボチャスープやジュースの販売をしました。



ギャラリーWESTでの前日の内覧会も含めた4日間では、大阪手をつなぐ育成会と大阪市手をつなぐ育成会の会員さんとご子息や事業所利用者の皆さんに、販売補助員や呼び込み係としてボランティアでご参画いただきました。ありがとうございました。

10日と11日は大阪市育成会が担当する枠があり、レジの補助では慣れない接客でしたが、来場された方に食材の説明をし、呼び込みでは場内放送に負けないうらいの大きな声を出し、休憩で控室に向かう際、来場の皆さまからの大きな拍手で送って頂いた場面もありました。



【販売補助や呼び込みをする皆さん】

東ゲート側のEXPOホールとは正反対の西ゲート側にギャラリーWESTは位置し、大屋根リング周辺のような華やかな雰囲気はありませんが、この場所はフューチャーライフゾーンと呼ばれ、多様な人たちがチームを組んで多彩な活動を展開して世界が抱える課題を解決していくという、今回の万博でも重要な意義をもつエリアに位置します。この場所で展覧会やキッチンカーという方法を使って、障がいのあるなしに関わらず時間を共有する場が設定されたということは、万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」に向けた想いの一端があったように感じました。

virtus 世界水泳大会に出場して
東成育成園支部 岡村 恵子
岡村 実幸

virtus世界水泳大会がタイ、バンコクで開催され、実幸が出場しました。8月20日より30日までと長い遠征でした。virtusとは知的障がい者スポーツ連盟のことです。知的障がいの選手の大会は多くなりましたが、ダウン症選手のカテゴリーはここ数年で新設され、出場機会が徐々に増えてきました。

6月30日に連盟より推薦選手22名の発表がありダウン症選手も6名が選ばれ、そこからの準備は気が遠くなりました。7月には代表合宿が東京であり、実幸には重度知的に加え、身体にも障がいがあるため、